

管理会計論B		講義	教授 白山 真一
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 選択必修科目 教職科目	科目ナンバリング	23010206 25320213

1. 授業のねらい・概要

大学を卒業して企業に就職すると、みなさんはすぐに「管理会計」に直面します。「管理会計」は、企業戦略の策定、経営意思の決定、マネジメント・コントロールなどについて、「会計」というツールを使って企業経営に役立てるものです。本講義は前期にする開講する管理会計論 A の応用コースであり、前期と同様に、可能な限りわかりやすい図解や動画を使用することで、企業経営の中で「管理会計」がどのように使われているのかについて、実務的かつ体系的に説明します。企業に就職する前に、「管理会計」を是非理解しておきましょう。

2. 授業の進め方

各回について、以下の 8. に記載のテキストを参考に作成した、図解付きのパワーポイントのレジュメを配布して、講義形式で実施します。必要に応じて、実際の企業で使われている資料や企業に関する実際の動画の視聴なども含めながら、実務的な説明も行います。

3. 授業計画

1. 管理会計論 A の復習	9. 経営分析 ③（安全性分析と成長性分析）
2. 管理会計論 A の発展学習－経営意思決定支援会計（演習）－	10. バランスト・スコアカード①（BSC の役割・フレームワーク）
3. 活動基準原価計算（ABC/ABM）	11. バランスト・スコアカード②（BSC の運用・導入ケース）
4. 原価企画	12. 知的資本の基礎とインタングブル・マネジメント
5. 事業部制管理会計 ①（事業部損益計算書と業績評価）	13. IT の基礎と IT 管理会計
6. 事業部制管理会計 ②（事業部貸借対照表と業績評価）	14. 統合報告と管理会計
7. 経営分析 ①（経営分析の基礎）	15. まとめと復習
8. 経営分析 ②（収益性分析）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業のテーマについて、テキストの該当箇所にざっと目を通しておき（30 分程度）、自分の理解が不十分な部分を明確にしたうえで受講してください。毎回配布する「理解度テスト」（30 分程度）で復習をしてください。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

「理解度テスト」については、配布した次の回の授業にて解説します（この理解度テストの結果は成績評価には関係しません）。「定期試験」については、試験実施の際等に解答例を配布します。

6. 授業における学修の到達目標

①管理会計の基本的な考え方を理解したうえで、「企業の経営とは何か」ということについて、新聞やニュースで報道された内容について理解できるようになること。

②管理会計に関連する最新のテーマについて、基礎的理解力を形成すること。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（50%）および定期試験の結果（50%）によって、評価します。

8. テキスト・参考文献

テキストは、櫻井通晴・伊藤和憲編著（2017）『ケース 管理会計』（中央経済社）を使用します。参考文献は、櫻井通晴著（2019）『管理会計 第七版』（同文館出版）、ワシントン大学フォスタービジネススクール管理会計研究会〔訳〕岡本清等（2015）『【新版】管理会計のエッセンス』（同文館出版）をあげておきます。

9. 受講上の留意事項

基本的には,前期に実施した「管理会計論 A」の履修者を対象としますが,受講要件とはしません。経営分析など計算式による説明が一定程度生じますが,可能な限りわかりやすい解説をしていくので,疑問点や不明点は遠慮することなく,積極的に質問してください。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本授業は,監査法人における公認会計士及び会計アドバイザー業務の実務経験を活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。